

賀詞交歓会

鍛造協会、170人参集

角田会長「価格
転嫁に課題」

日本鍛造協会（会長・角田邦夫KAKUT Aテックフォーシング社長）は23日、KKRホテル東京（東京都千代田区）で賀詞交歓会を開き、約170人が出席した。角田会長は

労務費上昇分の価格転嫁について触れ「予想以上の会員企業が交渉し、かつ転嫁に成功した事例を多く聞いた。一方でベア分のみ、または時間だけが経過しているケースなどがあり課題は残っている」と強調。「親事業者との懇談などを通じて理解を求めていく。交渉結果のフォローアップ調査も行い、経産省へ報告する」とした。新

たな素材材産業ビジョン策定委員会については「先月までに5回の会合を終えた。今後経産省などから報告があるだろう」と話した。

その後、来賓代表挨拶で星野昌志経済産業省素材材産業室長が「来月または再来月には報告書を提示できるだろう」と報告した。

軽仮設リース業 協会、280人参集

軽仮設リース業協会



（会長・関山正勝日建リース工業会長兼社長）は23日、東京都千代田区の霞山会館で新年賀詞交歓会を開催し、約280人が参集した。冒頭で主催者を代表し挨拶に立った関山会長は「写真は、仮設技術者が有する図面製作の実務能力を認定する協会の資格制度「仮設設計士」について「誰もが知っていることがブランドになる」と広報に注力する考えを示し、「『仮設は仮設屋に任すんだ』というところをしっかりとアピールしていきたい」と強調。これまで良好だった直近10年の市場環境に対し、今後10年に向けて「一致団結し、協力すべきは協力し、強い協会をつくっていく必要がある」と、力強く呼びかけた。